資料２

読書ノートについて

１　小学生向け読書ノート

小牧市教育振興基本計画における施策８として「小中学生にすすめるブックリストの活用」を掲げております。このブックリストの活用として、子どもたちが本に親しむきっかけの一つとして、読書ノートの試作を作成し、光ヶ丘小学校の１・２年生の子どもたち及び保護者のご協力を得て、平成３０年度に読書ノートの試行をさせていただきました。

今年度は、読書ノートの活用を通じて、子どもたちが本に触れる機会を増やし、本を読む楽しさを感じながら、子どもたちの読書習慣の形成を目指し、市内小学校１６校に通う全児童に対し、読書ノートの配布を実施します。

（１）今年度のスケジュールについて

令和元年４月	読書ノート印刷の入札
令和元年５月	読書ノート印刷の契約締結
令和元年６月～７月	読書ノート（低・中・高学年）の校正
令和元年８月末	読書ノート納品 （図書館にて、各小学校ごとにわけ、学年・クラス単位にまとめる。）
令和元年９月	市内小学校（１６校）へ配布
令和元年１０月～令和２年２月	読書ノートの活用 （図書館からの支援） ・読書ノートに記載された図書の配本貸出 ・図書館、市民センター図書室で、ブックリストコーナーを設置 ・ブックリストの図書を複本購入 （学校での活用例） ・給食の時間に、図書委員による読書ノートの紹介 ・学校司書による読書ノートの紹介 ・朝礼等で校長先生や担任の先生による読書ノートの紹介 ・朝読タイムの中で、読書ノートを活用 ・国語や総合学習の中で、読書ノートを活用 ・学校図書館において、ブックリストを掲示 ・学校図書館や学級文庫に、読書ノートに掲載されている本の設置 ・（コーナー設置のスペースがあれば）学校図書館コーナーを設置
令和２年２月中旬～２月下旬	アンケート実施 １０冊以上読了した児童の読書ノートを回収
令和２年２月下旬～２月末	１０冊以上読了した児童数を集計し、読書マスター認定証を作成
修了式までに	読書マスターとなった児童へ認定証を配布

（２）アンケートについて

抽出小学校（４校）に対し、アンケートの実施を予定しています。

（３）今後について

学校においては、学校図書館システム（スクールライブラリ）による貸出統計の集計を行い、図書館においては、小学生を抽出し、貸出及び利用者統計を集計します。

読書ノートは、２年間使用するため、令和２年度以降、毎年新１年生、新３年生、新５年生の全児童へ読書ノートを配布します。

新図書館開館後は、読書ノートのさらなる活用を目指し、新図書館児童コーナーやティーンズコーナーにて読書ノートの設置も検討していきます。

２　中学生向け読書ノート

中学生にすすめるブックリストの活用について、中学生版読書ノートを作成することを検討しています。

今年度は、光ヶ丘中学校をモデル中学校とし、中１または中２の生徒に対し、中学生版読書ノートを試行します。

（１）今年度スケジュールについて

令和元年８月上旬	中学生版読書ノートの試作を作成
令和元年９月	校長会・教頭会・研究部会にて説明 光ヶ丘中学校へ読書ノート試作を配布
令和元年１０月～ 令和２年２月中旬	光ヶ丘中学校の協力を得て、読書ノートの活用
令和２年２月下旬	アンケート実施、回収

（２）今後について

試作読書ノートのアンケートや先生方のご意見を参考とさせていただき、令和２年度に、市内全中学校の生徒に対し、中学生版読書ノートの配布を目指します。